



天然歯の形態・色調を徹底追求した「サーパス」に、
前歯ショートバイトが加わりさらに充実。



前歯ショートバイトが新登場



HIGH ABRASION RESISTANT PLASTIC TEETH

SURPASS

ジーシーサーパス

硬質レジン歯

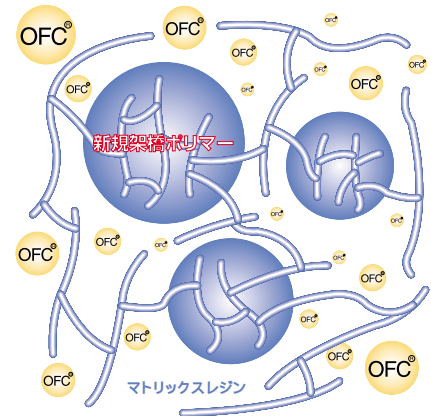
〈前歯〉 〈臼歯〉

健保適用

健保適用

現代日本人にぴったりマッチする 新・硬質レジン歯「サーパス」

サーパスは天然歯の測定データを科学的に解析、形態・色調とも現代日本人に適応するよう審美性と機能性を重視して開発された硬質レジン歯です。特に臼歯は総義歯・部分床義歯双方に的確に対応、さまざまな咬合様式に容易に対応できる形態を採用しました。サーパスは画期的な新素材「クロスリンクコンプレックス」によって、優れた靱性、耐変色・耐着色性を発揮します。



クロスリンクコンプレックス = 新配合の架橋ポリマーとマトリックスレジン中のレジン成分が、OFC®を巻き込みながら最終重合段階で2次的に高密度架橋する新しい硬質レジン。従来の硬質レジンにみられた変色性が改善され、物性的にも破壊エネルギー値が大幅に向上しています。
OFC®(Organic-Inorganic Filler Complex) = ジーシー独自のキャピラリーテクニックによる特殊フィラーです。フィラー中の多孔質部分や2次凝集部分に含まれているエアなどの空隙がなく、諸物性が向上しています。

色調

SURPASS

現代日本人に合わせた色調

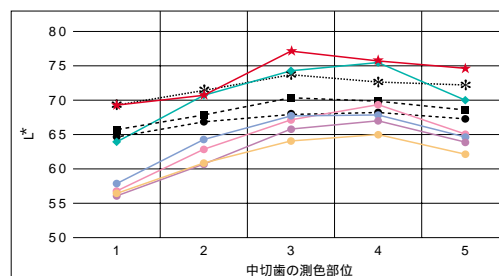
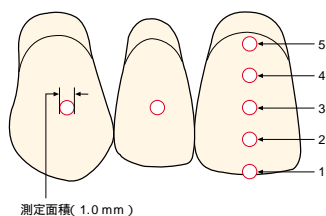
色調はビタシェードを基にジーシー独自の測色技術を応用。多数の天然歯測色データを統計解析し、現代日本人に合った日本人のための歯冠色を的確に表現しました。パーシャルデンチャーの適用にも残存歯との良好な調和が得られます。



測色計を使ったシェードの決定

各社人工歯を測色計により1歯あたり5ポイント計測で徹底分析しました。特に明るさについては各社硬質レジン歯が高齢者を意識したやや抑え気味の色調なのに対し、「サーパス」では現代人の感性に合った躍動感あふれる若々しさを表現しています。

測定部位



サーパス前歯、他社硬質レジン歯及び天然歯の測色値(A3:L*)

- * 天然歯30才以下
- 天然歯31～60才
- 天然歯61才以上
- ★ サーパス前歯(A3)
- 他社製品A
- 他社製品B
- 他社製品C
- 他社製品D
- ◆ VITA A3

耐久性

SURPASS

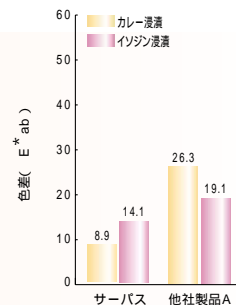
優れた耐変色・耐着色性

従来一般的な硬質レジン歯はマトリックスレジンにウレタン系モノマーを使用していたため変色や着色を起しやすという性質がありました。サーパスではアクリル系マトリックスレジンの採用で、耐変色・耐着色性が大いに改善されています。

優れた耐変色・耐着色性 着色試験



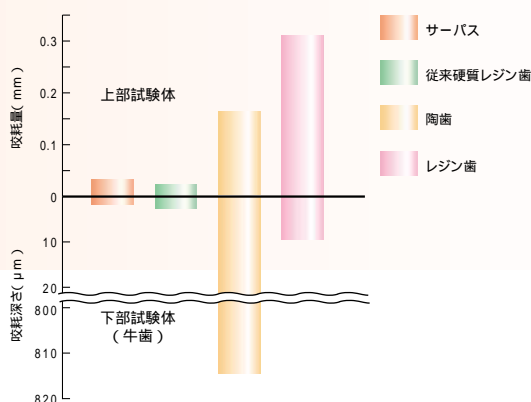
カレー、イソジン着色試験
試験前と試験後のサンプルの色差 (E*ab)



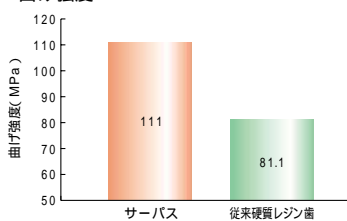
硬いだけでなく、天然歯にもやさしい硬質レジン歯

クロスリンクコンプレックスの採用により、人工歯に求められる各種物性を高レベルでクリア。アクリル系マトリックスレジンを使用しながらも従来の硬質レジン歯と同等の耐摩耗性を実現しています。天然歯を咬耗させることもありませんので、パーシャルデンチャーにも最適です。

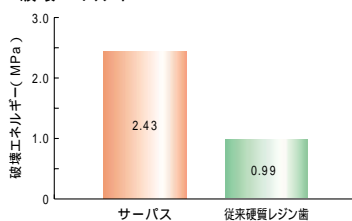
咬耗試験



曲げ強度



破壊エネルギー

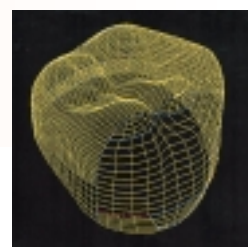


精巧性

SURPASS

デジタルデータによる精密な設計

CAD/CAMを用いて左右対称、相似形に設計されていますので、一定の感覚で排列できます。

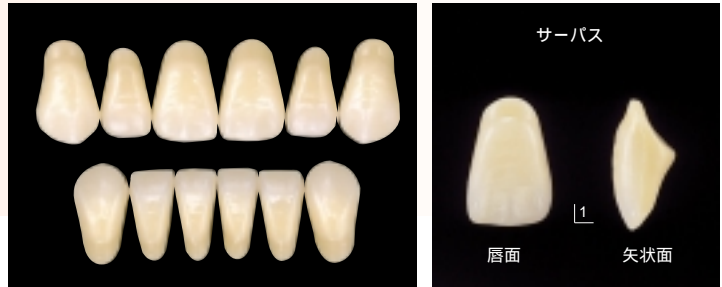


審美性

SURPASS

現代日本人の天然歯に合わせた形態

サーパスは近年の日本人前歯の形態に合わせて設計。歯肉退縮したケースを考慮してカラー部は長く設定しました。唇面の充分な豊隆と唇舌的な厚みは、自然な口元をつくり出します。



サーパス(上顎: C5 下顎: 5N)

機能性

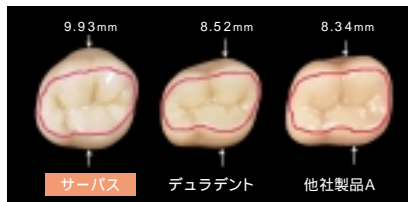
SURPASS

汎用性が高い広めの頬舌径

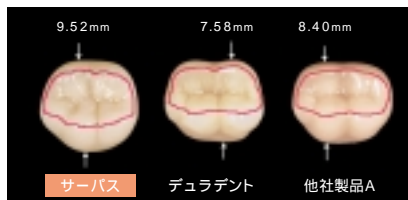
天然歯の歯冠形態を基準に頬舌径をやや大きめに設計。総義歯はもちろん天然歯との的確な咬合関係が求められる部分床義歯にも最適です。

天然歯との比較

上顎 第一大臼歯



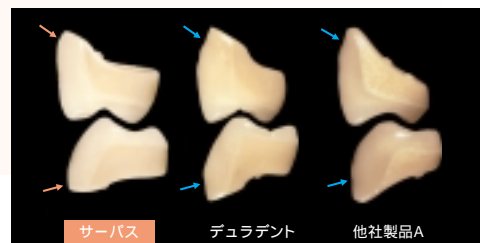
下顎 第一大臼歯



サービカルラインを自由に設定できるサニタリータイプ

フラットな歯頸部は、歯肉の位置が任意に与えられますので天然歯と自然に調和。歯頸部のステップをなくしたことにより、食物の停滞や不潔域ができにくくなっています。

第一大臼歯 近心面観

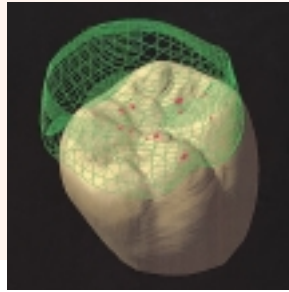


咬合調整が容易な点接触

咬合面には点接触による明確な咬合関係を付与。機能咬頭には傾斜角20°の咬合小面を与えてあります。これによりフルバランスはもちろんパーシャルへの適用に際しても、最小限の削合で容易に調整が行えます。



適正な咬合関係



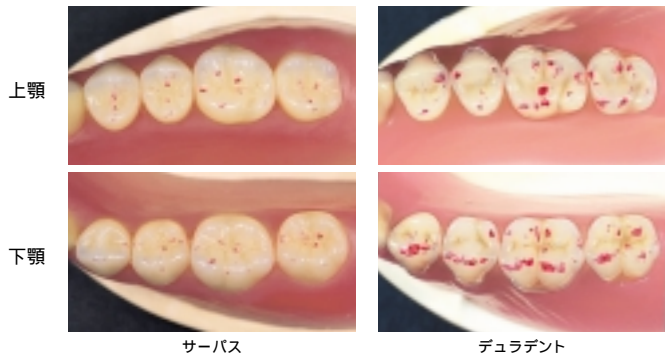
調節彎曲を付与した時の傾斜角



咬合をガイドする傾斜角20°を付与



サーバスとデュラデントの接触点比較



確実な保持のための基底面形状

素材自体の化学的接着性に加え基底面にはあらかじめ凹状の維持孔を付与し、人工歯の脱落を防止。デンチン、エナメル層にも高い接着性がありますので、義歯床との境目や深い削合を要する症例でも安心です。



各層同士の接着は極めて強固。口腔内での長期にわたる急激な温度変化の繰り返しにも接合面が剥離することはありません。

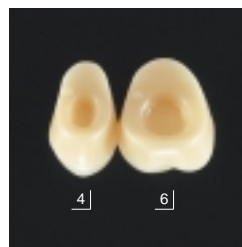
サーバス 前歯 の舌面



サーバス 前歯 の断面



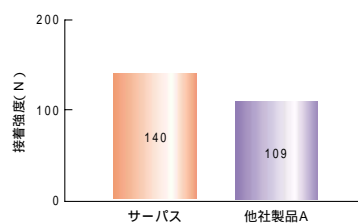
サーバス 白歯 の基底面



サーバス 白歯 の断面



人工歯の義歯床との接着(前歯)



人工歯の義歯床との接着(白歯)

